

平成25年度県立高等学校の学科改編及びコース設置等について

このことについて、別紙資料に基づき報告します。

平成24年7月23日

高等学校教育課

I 英語科の学科改編について

○ 変更学科

- ・ 県立尾北高等学校「英語科」、県立御津高等学校「英語科」の2学科を「国際教養科」に改編する。

グローバル社会において、国際感覚を身に付けた国際社会で活躍できる人材を育成する。

II 県立常滑高等学校普通科のコース変更について

○ 設置コース

- ・ 国際理解コース（20名）自然科学コース（20名）を国際理解コース（40名）に変更する。

国際理解にかかる様々な活動を通して、豊かな国際感覚を身に付けた人材を育成するために、自然科学コースを廃止し、国際理解コースのみとする。

III 県立古知野高等学校商業科のコース設置について

○ 設置コース

- ・ 観光ビジネスコース

商業科の中で、第2学年から「会計コース」、「販売ビジネスコース」に加え「観光ビジネスコース」を新設する。

観光に関する分野に係る知識や技術を習得させるとともに、ホスピタリシー（おもてなし）の精神を育み、観光産業全般で活躍できる人材を育成する。

IV 県立宝陵高等学校福祉科のコース設置について

○ 設置コース

社会福祉分野の学習を基盤にしなが、生徒の興味・関心や進路希望に応じて第2学年から「社会福祉実践コース」と「医療看護進学コース」に分かれる。

- ・ 社会福祉実践コース

社会福祉や介護福祉分野を専門的に学び、介護福祉士国家資格の取得を目指すとともに、東三河地区の福祉を支える人材を育成する。

- ・ 医療看護進学コース

看護に関する基礎的・基本的な知識を学び、看護系大学や専門学校へ進学し、将来の東三河地区の医療を支える人材を育成する。

英語科の学科改編について

1 変更内容

平成25年度入学生から、県立尾北高等学校「英語科」、県立御津高等学校「英語科」の2学科を「国際教養科」に改編する。

2 変更理由

(1) 平成25年度入学生から、高等学校においては「英語の授業は英語で行うことを基本とする」ことが学習指導要領で定められ、英語をコミュニケーションの手段として身に付けることとなった。そのため、「英語科」という学科名が、語学の習得のみを目的としている印象を与え、時代の流れに合わないものとなってきている。

(2) グローバル社会において、国際社会で通用する人材育成を目指していることを明示するために、「英語科」を「国際教養科」に改編し、本県における国際理解教育の一層の推進を図ることとする。

3 「国際教養科」のビジョンについて

- (1) すでに「国際教養科」を設置している千種高校とあわせて、本県の国際理解教育の牽引役とし、国際感覚を身に付けた国際社会で活躍する人材を育成する。
- (2) 英語だけでなく、中国語、韓国語などアジアの言語も学べる学科とする。
- (3) 海外の姉妹校との相互訪問や長期の交換留学、海外修学旅行を実施するなど、アジア諸国も含めて海外との交流を積極的に図る。
- (4) 国際社会で日本人としての自覚をもてるよう、日本の歴史や伝統文化を学んだり触れたりする機会を充実する。

4 特色ある教育

- (1) 留学生、海外帰国生徒、留学経験者などを積極的に受け入れ、日ごろの教育活動において国際交流を一層推進する。
- (2) ユネスコスクールに加盟し、そのネットワークを活用して、海外の高校・大学との交流を推進する。
- (3) 高校生が大学に出かけて講義を受けたり、大学で学んでいる外国人留学生を高校に招いて授業を受けたりするなど、高大連携を一層推進する。
- (4) 国際社会で適用する思考力・判断力・表現力等を育成するため、学校設定科目として、新たに「異文化コミュニケーション」、「国際理解」等を設ける。

常滑高等学校のコースの変更について

1 変更内容

平成25年度入学生から、県立常滑高等学校のコースにおいて「国際理解コース(20名)」及び「自然科学コース(20名)」の2コースを「国際理解コース(40名)」に変更する。

2 変更後の学級編制について

現行		→	変更後
普通科	国際理解コース20名 自然科学コース20名		国際理解コース40名
工業科	セラミックアーツ科・グラフィックデザイン科 各1学級		現行と同じ

3 変更理由

- (1) コース設立当初は自然科学コース、国際理解コースともに定員を満たしたが、その後は、特に自然科学コースについては3年連続でコース入学者が10人未満という状況であり、授業運営等に支障が生じている。
- (2) 1学年8クラスの中に普通科の「普通コース」、「国際理解コース」、「自然科学コース」と工業科の「セラミックアーツ科」、「グラフィックデザイン科」の5種類の教育課程があり、総合選択制も取り入れているため、時間割が硬直化し、柔軟な学校運営がしにくくなっている。
- (3) (1)、(2)の状況であるため、学校からも自然科学コースを希望する生徒は、2年次以降理系類型の中で対応ができるので同コースを廃止し、国際理解コースに重点化することで、学校全体としても国際理解教育に力を入れていきたいという要望が出ている。

4 特色ある教育

- (1) 平成24年度から国の「英語力を強化する指導改善の取組事業」の指定校として、外国語の学習評価の改善等について研究を進めており、研究成果を他の県立高等学校に還元する。
- (2) 今後数年間、外部検定試験を活用して自校生徒の英語力について把握・分析を行い、英語の授業の指導改善を推進する。
- (3) 国内英語合宿・海外研修・中部国際空港における案内ボランティア等の活動を通じて、英語のコミュニケーション能力の向上を図り、豊かな国際感覚を身に付けた人材を育成する。

新学科「国際教養科」が誕生！（英語科が国際教養科に生まれ変わります）

愛知県立尾北高等学校・国際教養科

*You'll have a better chance of success
through intercultural communication.*

1 留学生との交流や 第2外国語の学習

毎年留学生がクラスに入り、
国際交流を進めます。

2 独自の科目『LL演習』 『異文化コミュニケーション』

ネイティブ講師の指導により、コミュ
ニケーションの力を鍛えます。

国際交流に一層積極的に取り組みます。

3 スイス・オーストラリアへの
短期留学
海外の高校生や大学生と交流
の機会を確保して国際感覚を
身に付けます。

4 高大連携授業の推進
海外の有名大学と連携を用いて
英語力・異文化理解を向上する
ことを行います。

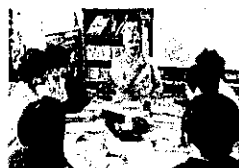
グローバル社会で活躍できる生徒の育成を目指します。



スイスからの留学生を囲んで



カナダの高校生との格闘授業



外国の高校生との交流授業 第2外国語ネイティブ講師の授業

問い合わせ先 愛知県立尾北高等学校

〒483-8157 愛知県江南市北七町254番地 TEL0587-56-3038 FAX0587-53-0985

グローバル人材の育成と国際化に向けて 平成25年度 から

御津高校の英語科が



国際教養科
に変わります

コミュニケーション能力の育成をめざします

- ・国際教養科にふさわしい科目を用意します
- ・国際交流をいっそう充実させグローバルな視野を養います
- ・国際協力機構（JICAなど）との交流を深め国際感覚を養います
- ・海外からの大学留学生との交流を推進します

国際交流

- ・1年間留学制度
(3年で卒業可)
- ・短期留学制度
- ・オーストラリア英語研修
- ・姉妹校提携
- ・長期・短期留学生
の受け入れ

異文化理解

・日本文化の知識と理解

・他文化を尊重する心

・郷土を愛する心

語学力UP

- ・English Camp
(英語集中合宿)
- ・English Day
(1日中英語で生活)
- ・第2外国語(選択)
フランス語・中国語
- ・大学との連携

「使える英語」と「人間力」の向上をとおして

- 国際社会で活躍できる人材を育成します
- 地域社会に貢献できる人材を育成します

古知野高等学校のコース設置について

愛知県立古知野高等学校 学科構成

1 新設内容

平成25年度入学生から、県立古知野高等学校のコースにおいて、「観光ビジネスコース」(2年次に選択)を新設する。

2 新設理由

- (1) 愛知県では平成22年3月に策定された政策指針において、「産業としての観光の推進」が主要政策に位置付けられるとともに、観光人材の育成や県立高等学校での観光教育の推進が求められている。
- (2) 現在、商業科において実践されているマナー教育や地域連携活動を、観光教育を通して一層の推進を図る。また、地域の企業や商工会議所、大学・専門学校等との連携をさらに深めることにより地域振興につなげるとともに、将来、地域産業に貢献する人材の育成を目指す。
- (3) 本県として、本校を広く尾張地区の観光教育の拠点校として位置付けるとともに、名古屋、知多、西三河、東三河地区等においても、観光や地域振興に係る学科やコースの設置を目指す。

3 特色ある教育

- (1) 商業科の中で、第2学年から「会計コース」、「販売ビジネスコース」に加え「観光ビジネスコース」を新設する。
- (2) 地域連携を通じた体験学習などを通して、ビジネスマナーを身に付けさせるとともに、企画力や情報発信能力を育成する。具体的には、近隣のホテルや観光関連企業等で10~15日間にわたる長期間のインターンシップを実施する。また、日本の伝統文化である茶道や郷土芸能などを学習することにより、海外からの観光客に披露する機会を設ける。
- (3) 商業科目の発展的な学習として観光に関する学習内容を取り入れるとともに、新たに観光に関する学校設定科目を設けることにより、特色ある教育課程を編成する。
- (4) 観光コースでの専門的な学習を生かした就職や上級学校への進学を目指す。

【平成24年度入学生】

商業科(2)				情報処理科(2)			生活文化科(1)		福祉科(1)
進学コース	会計コース	販売ビジネスコース	コース	情報活用コース	情報処理	技術者	コース	被服コース	食物コース

() 内はクラス数

【平成25年度入学生】

商業科(2)					
会計コース	販売ビジネスコース	コース	観光ビジネスコース	観光分野のインターンシップ	観光商品の開発など

愛知県立古知野高等学校
愛知県江南市古知野町高瀬1番地

参考：政策指針2010-2015

28 産業としての観光の推進

- 社会が成熟し、今後、経済のサービス化が一層進むと見込まれる中、サービス産業の振興を図っていくことは、本県産業の多様化を図る上でも重要である。とりわけ、観光産業については、裾野の広い産業であり、余暇需要の拡大や、成長著しい東アジアなどからの訪日観光客の一層の増加が見込まれる中において、今後の有力な成長産業の一つであることから、愛知らしい独自の資源を活用した観光振興の取組や、観光事業者のイノベーションの支援、人材育成などにより、産業としての観光の推進を図っていく。

主な取組

- 農商工連携などによる土産物(特産品)の開発・販売の支援
- 「産業観光」、「武将観光」の取組の充実(「愛知・名古屋修学旅行誘致促進協議会」を活用した修学旅行の誘致活動の強化など)
- グリーン・ツーリズムなどのニューツーリズムの取組の推進・支援
- 観光事業者のイノベーションの支援(専門家による経営診断、観光プロモーション活動への助言など)
- 観光人材の育成(県立高校での観光教育の推進など)

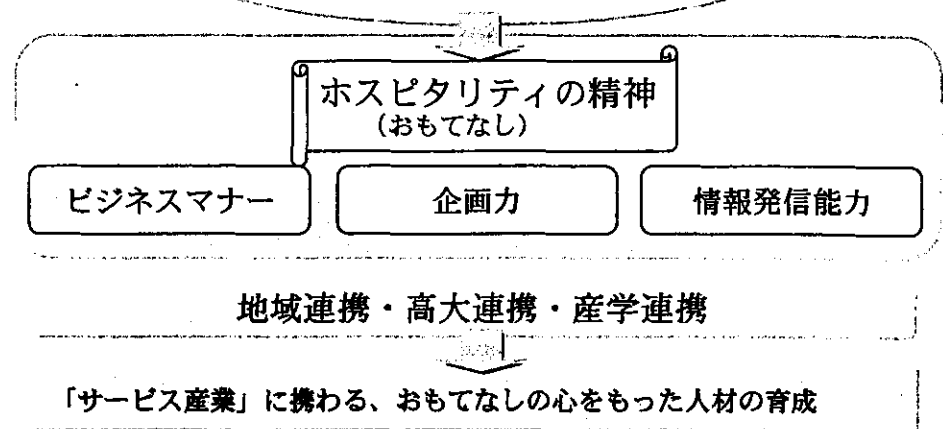
<関連する個別計画> 愛知県産業創造計画(2005年1月) ※2010年度に産業労働計画(仮称)として改定予定
愛知県観光振興基本計画(2010年3月)

県立古知野高等学校の商業科に県内初の 「観光ビジネスコース」を設置します。

○観光ビジネスコースでは

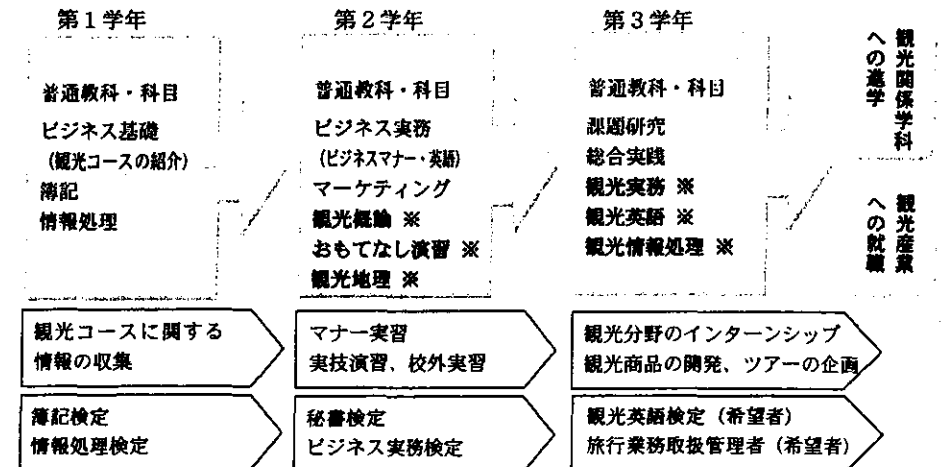
観光に関する分野についての知識と技術を習得させるとともに、ホスピタリティ（おもてなし）の精神を育てることを目標にしています。そのために、体験学習などの実践を重視した授業を展開し、観光産業全般で活躍できる力を身に付けさせる学習指導を行います。

サービス経済化社会



○3年間の学習内容

(※は観光ビジネスコースに関する学校設定科目)



教科	科目	標準 単位数	第1 学年	第2学年				第3学年				備考											
				商業科		情報処理科		商業科		情報処理科													
				会計	販売・観光 ビジ	情報	情報 技術	会計	販売・観光 ビジ	情報	情報 技術												
国語	国語総合	4	4																				
	現代文B	4			2		2		2		2		2		2		2		2		2		
地理歴史	世界史A	2			2		2								2		2		2		2		
	地理A	2													2		2		2		2		
公民	現代社会	2	2												2		2		2		2		
数学	数学I	3	3												3		3		3		3		
	数学II	4			2		2		2		2		2	4		4		4		4			
理科	科学と人間生活	2	2												2		2		2		2		
	化学基礎	2			2		2							2		2		2		2			
	生物基礎	2												2		2		2		2			
保健体育	体育	7~8	2												7		7		7		7		
	保健	2	1		1		1							2		2		2		2			
芸術音楽	音楽	1	2		2		2							2		2		2		2			
外国語	英語I	3	3												3		3		3		3		
	英語II	4			3		3								3		3		3		3		
	英語III	4													3		3		3		3		
	英語表現I	2													△3		△3						
家庭	家庭総合	4			2		2							2		2		2		2			
商業	ビジネス基礎	2~4	3												3		3		3		3		
	課題研究	2~4													3		3		3		3		
	総合実践	2~5													3		3		3		3		
	ビジネス実務	2~6			○2		○2		2										○2		○2		
	マーケティング	2~4			2		2												4		2		
	商品開発	2~4																	3				
	広告と販売促進	2~4					3												3				
	ビジネス経済	2~4							2		2										2		2
	経済活動と法	2~4							2		2				2		2		2		2		2
	簿記	2~6	5												5		5		5		5		5
	財務会計I	2~5			4		4								4		4						
	財務会計II	2~5													△3		△3						
	原簿計算	2~5			3														3				
	情報処理	2~6	4												4		4		4		4		4
	ビジネス情報	2~6			2		2		2		2				2		2		2		2		2
	電子商取引	2~4																	3				3
	プログラミング	2~6							3		3										6		3
	ビジネス情報管理	2~4							4												4		
	観光概論※																				3		
	おもてなし演習※																				2		
	観光地理※																				2		
	観光実務※																				3		
	観光英語※																				2		
	観光英語検定※																				2		
	観光情報処理※																				2		
共通科目	計	17	20~18	18	20~18	18	19~16	16	16	16	16	56~51	51	53~51	51	51	51	51	51	51	51	51	51
専門科目	計	12	9~11	11	9~11	11	10~13	13	13	13	13	31~36	36	34~36	36	36	36	36	36	36	36	36	36
特別活動	ホームルーム活動	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
総合的な学習の時間	計	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90

総合的な学習の時間は、「課題研究」の履修をもって替える。

教科「情報」は、「情報処理」の履修をもって替える。

※学校設定科目である。 ○△選択科目

宝陵高等学校のコース設置について

1 新設内容

平成 25 年度入学生から、県立宝陵高等学校福祉科において「社会福祉実践コース」及び「医療看護進学コース」の 2 コース（2 年次に選択）を設置する。

2 新設理由

東三河地区の看護師不足から、平成 24 年 2 月に衛生看護科の定員増について豊川市・新城市及び地元医師会から要望を受けた。

衛生看護科の定員増については、教員確保や施設設備の面で難しいこと、福祉科が過去 2 年間連続して定員割れしている現状から、衛生看護科の定員は現状を維持したうえで福祉科に看護系進学を前提としたコースを設置する。

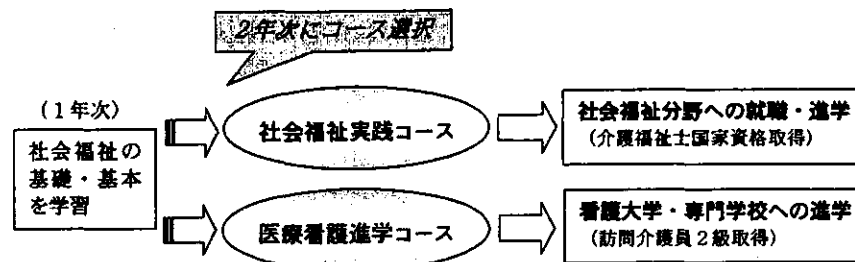
<要望のこれまでの経緯>

- ・平成 23 年 9 月議会一般質問にて藤原宏樹県議会議員（豊川市・自由民主党）から質問を受ける。
- ・平成 24 年 2 月 3 日豊川市と新城市から知事及び教育長へ「要望書」が提出される。

3 特色ある教育

- (1) 社会福祉実践コース（25 人程度）では、現行の福祉科の教育内容を踏襲し、介護福祉士国家資格の取得を目指す。卒業後は、福祉系大学や専門学校等への進学、社会福祉施設への就職が可能であり、東三河地区の地域福祉を支える人材を育成する。
- (2) 医療看護進学コース（15 人程度）では、社会福祉の基礎学習ののち、看護大学や看護専門学校等への進学を目指す。2 年次から福祉の実習科目に代えて、看護科目を履修するとともに普通教科の学習を重視する。

平成 25 年度から 県立宝陵高等学校の福祉科に 2つのコースを設置します。



新しい福祉科（1クラス 40 名募集）では、社会福祉分野の学習を基礎にしながら、生徒の興味・関心や進路希望に応じて、福祉分野を深く学習して介護福祉士国家資格の取得を目指す社会福祉実践コース（25 名程度）と看護大学や専門学校への進学を目指す医療看護進学コース（15 名程度）を設けます。

<3年間の学習内容>

